

No.7(一九七八年一月一・二一日合併号)から  
No.41(一九七八年二月二一日)まで

No.7(一九七八年一月一・二一日合併号)

新年にあたって

七八春闘への基本視点

「代議員権」問題で真剣な討論

―多くの課題を残した社会党統開大会―

社会党統開大会の残したもの

◇資料◇電通労組の社会党統開大会への見解

社会党第四一回統開大会と

今後の対処方針(案)

◇投稿◇社会党統開大会を傍聴して

旬刊『社会通信』取扱いについてのお知らせ

No.8(一九七八年一月二一日)

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か①

マルクス主義と改良主義―レーニンと改良主義批判―

「中道路線」に未来はない

理論と実践の結節点

―「総括」の弁証法的意義―

現代情勢をどうとらえるか

―『七八国民春闘白書』の問題点①―

投稿九月大会の反省をもとに討論を組織

No.9(一九七八年二月一日)

神奈川で「代議員権」問題はどう論議されたか

労働者階級の当面の任務はなにか

―『七八春闘白書』の問題点②―

◇マルクス・レーニン主義とは何か②◇

改良主義の階級の本質

―レーニンと改良主義批判②―

◇資料と解説◇

組織防衛、社会党改革のための「政策研究・宣伝センター」

の設置について(全電通労組)

旬刊『社会通信』取扱いについてのお知らせ

No.10(一九七八年二月一日)

七八春闘をめぐる経済情勢

資本家と労働者に和解はない

―七八春闘を勝利するために①―

◇投稿◇「八百板新党」に基盤はない

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か③

大衆闘争推進が克服の道

―レーニンと改良主義批判③

「不偏不党」「中立」はウソ

―マスコミを切る①―

No.11(一九七八年二月二日)

労働運動における二つの潮流

自信をもって七八春闘をたたかおう

―七七春闘の教訓を七八春闘へ―

冷酷な強盗とお人好しの貧乏人

科学を空想にひきもどす

田英夫氏の「新しい」社会主義

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か④

マルクス主義はたたかいの中で発展

―レーニンと修正主義批判①―

精神面で「国民」統合をめざす

―社説にみる独占資本の意図―

No.12(一九七八年三月一日)

特集・社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判①

一、『中期経済政策』作成の経過とその問題点

二、分権化Ⅱ自主管理型社会主義批判

革命否定のなしくずし接近論／悪質な歪曲による「社会主義の転換」／資本主義下でも労働力商品を廃絶できる？／不可欠の前提はプロレタリア階級独裁と国有化だ／分権的計画化は社会主義とは無縁だ／民主集中制は地方分権と矛盾しない。

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か⑤

議会制度と国家権力について―レーニンと修正主義批判②―

No.13(一九七八年三月一日)

特集・社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判②

三、階級的視点のない情勢分析―世界経済の現状認識の方法について

四、革命を忘れた『中期経済政策』―「中期経済政策」とは何か―

五、『中期経済政策』と民社党綱領

◇お知らせ◇

No.14(一九七八年三月二日)

合理化と労働者―七八春闘勝利のために②―

「百万党」の中核はだれか―社会党七八年度運動方針を読んで―

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か⑥

経済闘争と政治闘争―レーニンと修正主義批判③―

社会党『中期経済政策(第一次試案)』の検討

―民社党、社会民主連合の綱領と比較して―

No.15(一九七八年四月一日)

◇七八国民春闘への提言①◇

反失業闘争の貧困

「代議員権」問題再論

ソ連にインフレがあるか?―小売価格の一部改正について―

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑦◇

ストライキは「戦争の学校」である―レーニンとストライキ論①―

資料①民主的規制に対する長野地本青年部常任委員会の見解

資料②『労働社会問題研究センター』対策について(全電通労組)

資料③フランスの総選挙結果から

No.16(一九七八年四月一日)

◇七八国民春闘への提言②◇

去るも地獄・残るも地獄

明瞭となった「中期経済政策」・「社会主義の構想」の誤り

―第四二回社会党大会を傍聴して―

社会党の路線に忠実なのはだれか?

―社会党福島県本問題について―

「青少年対策」方針には付帯条件

―組織・財政・機関紙小委員会傍聴記―

「社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判」の批判に答う①

No.17(一九七八年四月二一日)

◇七八春闘への提言③◇

幹部闘争から大衆闘争へ①

支離滅裂な『反批判』者たちの批判

―「社会党『中期経済政策(第一次試案) 批判』」に答う

理屈を考えるのも重要だがまずたたかいを

―中小企業における労働者の実態①―

◇投稿◇社会党大会を傍聴して

資料①サンケイ新聞と向坂逸郎氏との談話

資料②中期経済政策(第一次試案)について参議員安恒良一

◇誌上学習会◇

マルクス・レーニン主義とは何か⑧

経済的ストライキと政治的ストライキについて

―レーニンとストライキ論②―

No.18(一九七八年五月一日)

七八国民春闘への提言④

幹部闘争から大衆闘争へ②

国労「民主的規制」への疑問①

投稿京都知事選の敗北は左派への警鐘

情勢について無理解なのはだれか

―「社会党『中期経済政策(第一次試案) 批判』」の批判に答う③

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑨◇

大事なのは階級的自覚を高めること

―レーニンとストライキ論③―

(増刊号) 社会党『中期経済政策(第一次試案) 批判』発行のお知らせ

No.19(一九七八年五月二一日)◇

◇七八国民闘争への提言⑤◇

幹部闘争から大衆闘争へ③

国鉄合理化は「変質」した?―国労「民主的規制」への疑問②

自信をもってたたかいを進めよう―中小企業の労働者の実態②―

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑩◇

内容豊かな『帝国主義と社会主義の分裂』―レーニンと労働運動論①

労働運動強化のポイント

増刊号発行のお知らせ

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

予定価格四〇〇円、五月中旬発行

No.20(一九七八年五月二一日)

全世界にとどろきわたる声！——『共産党宣言』発刊一三〇年に寄せて——

◇七八国民春闘への提言⑥◇

戦術的対応の克服を！

反合理化闘争のとらえ方に混乱

——国労「民主的規制」への疑問③

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑪◇

帝国主義の時代と労働運動——レーニンと労働運動論②——

資料①国民春闘共闘会議および公労協による声明

資料②全通中央闘争委員会声明

資料③七八賃闘収拾と総括の視点(全電通)

資料④春季賃金交渉現時点での感想(日経連)

◇増刊号発行のおしらせ◇

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版！

予定価格四〇〇円、五月中旬発行

No.21(一九七八年六月一日)

◇七八国民春闘への提言⑦◇

スト回避から学ぶもの七八国民春闘と日経連

「交流」の意義について

「窮乏化法則」は克服できる？——国労「民主的規制」への疑問④——

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑫◇

帝国主義の時代と労働貴族——レーニンと労働運動論③——

◇増刊号のお知らせ◇『社会党中期経済政策

(第一次試案)』批判の決定版！予定価格四〇〇円五月下旬発行

No.22(一九七八年六月二一日)

◇七八国民春闘への提言⑧◇ いのちと権利のたたかい

たたかいをふまえた具体的な総括を！

——七八春闘総括の一視点——

全通のスト「回避」とこれからの課題

——企一、二号の実践で職場からの反撃を！資料①

中央執行委員会としての総括的態度と決意表明(全通)

◇増刊号発行のおしらせ◇

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版！

予定価格四〇〇円、五月下旬発行

No.23(一九七八年六月二一日)

◇七八国民春闘への提言⑨◇

内部のカベを放置してはならない

七八春闘にみる階級闘争激化の情勢

学習が労働者の自覚を高くする―京成労組における七八春闘の教訓―

◇投稿◇福島県本問題その後

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑬◇

マルクス主義の戦術の核心

―レーニンと労働運動論④―

資料①国労長野地本社会党員協議会

全国大会代議員選挙にあたって

資料②全通京都社会党員協議会

スト回避に関する私たちの見解①

No.24(一九七八年七月一日)

◇七八国民春闘への提言⑩◇

日常闘争で組織づくりを(結語)全通第三一回大会の課題

全電通労組の「提起」をめぐる―日経連だけが熱いまなざし―

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑭◇

カール・マルクスの学説の歴史的運命―

―レーニンとマルクス①―

資料全通京都党員協議会

スト回避に関する私たちの見解②

◇増刊号発行のお知らせ◇

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

定価四〇〇円、好評発売中

No.25(一九七八年七月二一日)

◇七八国民春闘総括への提言①◇

破綻したのはJ.C路線

古典を学ぶ意義―人間として生きるために―

注目を集める全電通三一回大会―大会の焦点は何か―

一九七四年と一九七八年

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑮◇

「共産党宣言」が確立への第一歩

―マルクスとレーニン②―

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.26(一九七八年七月二一日)

◇七八国民春闘総括への提言②◇  
幹部闘争から大衆闘争へ

コンピューター利用の歴史的な性格―資本主義社会と技術革新―  
原水禁国民会議の当面する問題

投稿反合理化闘争は非妥協のたたかいか?―三池労組のたたかいを考える―

私鉄総連第五回中央委員会から

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑩◇

マルクスの学説はたたかいとられてきた―マルクスとレーニン③

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.27(一九七八年八月一日)

社会党の基本路線、組織原則の否定―『百万党建設の基本構想』の意味するもの―

資料①百万党建設への提言(佐々木幸一郎)

資料②社会党強化のための提言(総評党員協)

「反白民・反独占」統一戦線の根拠―総評七八年度運動方針を読んで―

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑭◇

歴史は弁証法的に発展する―レーニンとマルクス④―

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「中期経済政策(第一次試案)」批判の決定版!

No.28(一九七八年八月二一日)

◇巻頭言◇職場闘争(団結・抵抗・統一)

「百万党建設の基本構想」と社会党

あぶない!百万党建設―社会党再生への道はなにか―

◇資料と解説◇

岩井章氏が「労働運動統一懇談会」運動を提唱

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑱◇

―日本革命と社会党―党風確立のために①―

資料①全通第三一回大会での石井委員長決意表明

資料②全通第三一回大会「大会宣言」

編集部からのおねがい

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.29(一九七八年八月二日)

◇巻頭言◇地域共闘をおしすすめよう

集団入党は社会党に何をもたらすか―全電通労組の「社会党支持委員会」の実際―

◇資料と解説◇

全電通、電機労連の社会党

「選別支持」をめぐつて

「反独占」を鮮明にした総評大会

―総評大会を傍聴して―

◇マルクス・レーニン主義とは何か②③◇

革命理論の学習が大事だ

―日本革命と社会党②―

読書紹介

向坂逸郎著『資本主義における失業の不可避性』

◇号外(百万党「構想」批判)

発行のおしらせ◇

増刊号好評発売中定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.30(一九七八年九月一日)

◇巻頭言◇「反独占」路線にむけて

◇活動家座談会①組合大会をふりかえって

右傾化の流れをおしもどした全通大会

「指令二七号」と全通労働運動／基本路線をめぐつて活発な論議／本部は「基本路線の逸脱ではない」というが／原案が削除・修正された実損回復問題／団交権を確立すべし／―歩前進した反合理化闘争へのとりくみ／四・三時短はにせ時短だ／公明党との「友好」が意味するもの／省の右傾化攻撃をおもどす

本部と職場の接近がはじまった国労大会

焦点は反合理化闘争の理論と実践／新しい提起／広がる地域闘争・相違点も鮮明に／職場の声に本部、一歩歩み寄る／国鉄当局との対立が不鮮明／懸念される先進職場の孤立化／本部と職場の接近が始まる

号外(百万党『構想』批判)発行のおしらせ

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.31(一九七八年九月二一日)

有事立法はファシズムへの道

◇活動家座談会②組合大会をふりかえって◇

「春闘見直し」を提起した全電通大会

職場の声を反映した総評大会

◇マルクス・レーニン主義とは何か⑳

百万党「構想」と社会党―日本革命と社会党③―

◇読書紹介◇

「理論と実践」第二号、国鉄中央反合研が発行

「社会党『百万党構想』批判」(号外)の紹介

編集部からのおねがい

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

No.32(一九七八年九月二一日)

◇活動家座談会◇

階級的労働運動の発展にむけて―組合大会をふりかえって③

プロレタリア国際主義の力―第十一回世界青年学生発展報告①―

◇資料と解説◇「百万党」建設をめぐる

資料①「百万党の基本構想」に対する提言」大塚俊推

資料②百万党建設委員会検討メモ(その3)

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.33(一九七八年一〇月二一日)

◇岩井章氏に聞く◇

「労働運動統一懇談会」運動のめざすもの

ふきすさぶ「合理化」の嵐―鉄・電機にみる「合理化」の実態―

キューバの社会主義―第十一回世界青年学生祭典報告②―

◇投稿◇百万党『構想』を考える

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二二) 日本社会党の性格と任務

―日本革命と社会党④―

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円 社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.34(一九七八年一〇月一日)

『中期経済政策』と『百万の党』で議論 — 社会党第五五回中央委員会から —

資料①「百万党建設の基本構想」についての中間報告

資料②第五五回中央委員会での飛鳥田委員長集約

労働戦線統一論について

資料①鉄鋼労連運動方針にみる戦線統一論

資料②ゼンセン何盟運動方針にみる戦線統一論

資料③『社会労働評論』一〇月号にみる戦線統一論

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二三)

社会党は日本の産業構造とかけはなれている？

— 日本革命と社会党⑤ —

読書紹介◇『この社会と闘う組織づくり』

反合理化四単産交流報告

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.35(一九七八年一〇月二二日)

◇巻頭言◇とんでもない歴史の偽造

根拠のない「敵対矛盾」

— 本当の敵を見失っているのはだけか —

資料地方選挙に対し、組織推薦を受けるにあたっての態度表明

◇資料と解説◇

鉄鋼労連傘下組合の役員選挙

資料①新日鉄八幡労組の役員選挙結果

資料②労働組合主義とは何か

(住金、和歌山執行委員長あいさつ)

日経連の階級的本能

イラン情勢をめぐって

マルクス・レーニン主義とは何か(二四) ◇

正しい綱領、正しい機構

— 日本革命と社会党⑥ —

編集部から

◇号外、ご購入のおねがい

No.36(一九七八年一月一日)

創刊一周年にあたって

◇巻頭言◇中国はだれを利しているか

◇投稿◇階級闘争路線の正しさを確認

―社青同第一六回大会報告―

辛苦のたたかいが労働者をきたえる

―業務規制闘争(全通)をたたかって―

クビ切りを誇示する日経連

ピノチエト軍事独裁政府を支援する中国

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二四)

平和革命も「革命」である

―日本革命と社会党(七)―

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.37(一九七八年一月一日)

◇巻頭言◇「のんきな▲▲さん」

有事立法―その問題点とたたかいの方向

◇マルクス・レーニン主義とは何か(二五)

党内民主主義は社会党の生命

―日本革命と社会党(八)―

「春闘見直し」を進める全電通労組

資料全電通の賃金闘争の見直し論

◇資料と解説◇

総評・労働戦線統一に対する

当面の態度について

資料総評・労働戦線統一に対する

当面の態度(要旨)

東京と北京―危険な接近

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.38(一九七八年一月二一日)

◇巻頭言◇

朝鮮統一の世界会議を成功させよう！

特集・階級的労働運動構築への  
労働者階級の任務

一、労働者階級の任務は何か

―特集をはじめるにあたって―

二、現情勢の特徴と労働者階級の任務

すすむ労働者階級の「窮乏化」／不況・赤字を口実に首切り「合理化」を強行

“諸悪の根源”は独占資本／儲けに儲けている独占資本／独占資本家は語る／“もう

けにや損々、あとは野となれ山となれ”／軍事費、「公共」投資の拡大に狂奔／不況

・赤字攻撃と労働者階級の任務

三、「政策」と階級闘争

政策で資本主義の矛盾が「解決」できるか？／徐々に勝ちつづけなければ社会主義は  
こない？／国労の民主的現制の誤りはどこにあったか／問題は不況攻撃をはね返す思  
想の確立だ／「生命と権利」の視点の確立を  
中国の真意

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.39(一九七八年二月一日)

◇巻頭言◇沖電気首切り反対闘争を支援しよう！

◇特集・階級的労働運動構築への労働者階級の任務②◇

四、「連合時代の労働運動」論批判

勝利した波止浜分会のなかまたち

―全造船・波止浜分会のたたかいに学ぶ①

アルミ再編合理化の本質は何か

―昭電千葉解雇事件にまなぶもの―

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.40(一九七八年二月一日)

◇巻頭言◇反動勢力を利する「北方領土」四島返還論  
経営参加と中期経済政策第二部草案

「参加」路線が第一部(総論)にも導入

―社会党の中期経済政策(案)―

◇階級的労働運動構築への

労働者階級の任務③◇

五、不況・赤字攻撃に抗して

六、賃金要求と賃金闘争について

―その組織化の一総括―

◇投稿◇第一五回護憲大会に出席して①

◇号外・好評発売中◇定価四〇〇円

社会党「百万党建設の基本構想」批判

No.41(一九七八年二月二日)

◇巻頭言◇「中期経済政策」と社会党

社会主義革命を回避するための路線

―「中期経済政策」の意味するもの―

◇階級的労働運動への労働者階級の任務④◇

七、反合理化闘争の課題

―資本主義とたたかう決意と構えを―

大平体制への基本的対応

◇投稿◇社会党福島県本の最近の動向

「日本型共同決定法」構想の基本的誤り

◇増刊号好評発売中◇定価四〇〇円

社会党『中期経済政策(第一次試案)』批判の決定版!